

支援センターだより

〒780-0972 高知市中万々78 番地

高知県立高知ろう学校 相談支援部

電話 088-823-1640 FAX088-823-1752

E-mail: k-r o@g. kochinet. ed. jp



令和8年度

第2号

7月に入り、夏本番となりました。学校では、プールから子供たちの元気な声が聞こえています。蒸し暑い日があったり、気温が高くなったりするこの時期、汗や水によって補聴器や人工内耳に不具合が起こりやすくなります。汗をかいたのに、補聴器や人工内耳をそのままにしておくと、錆びや故障の原因となります。年間を通してみると、6月から10月位までが一番故障しやすい時期とことです。お手入れ方法を再度確認して、補聴器や人工内耳を大切に使いましょう。



補聴器・人工内耳 夏に気を付けること

汗をかいたら・・・

雨にぬれたら・・・

- ◆タオルで頭をよく拭きます。
- ◆補聴器、人工内耳をやわらかい布で拭きます。



- ◆補聴器、人工内耳を**乾燥ケース**に入れます。（電池は外して入れましょう。）

プール・水遊びをするとき



- ◆補聴器、人工内耳を外して**乾燥ケース**にしまい、決まった保管場所に置きます。
- ◆水に入った後は、耳や耳の中、髪の毛等をよく拭いて乾かしてから補聴器や人工内耳をつけましょう。
- ◆人工内耳メーカーから装用したまま水に入れる**防水カバー**も販売されています。

防水カバー



乾燥ケース



- ◆汗をかいた時、就寝時や長時間補聴器や人工内耳を使用しない時は乾燥ケースに保管しましょう。
- ◆空気電池は乾燥させると寿命が短くなるため、乾燥ケースには入れないようにします。
- ◆乾燥ケース内の乾燥剤は定期的に交換しましょう。



寝る前には・・・
必ず**乾燥ケース**に入れて
湿気を飛ばしましょう。

※汚れが蓄積しないよう、チューブやイヤーマールドの水洗いや耳の掃除など、定期的に行いましょう。